

# 鳥取県内の地下水位モニタリング 結果レポート

(R05 年度整理結果)

## 鳥取県持続可能な地下水利用協議会

令和7年5月

### 【目次】

内 容	ページ
はじめに（当該レポートについて）	1
モニタリング目的など	
モニタリング井戸の概要	1～3
モニタリング結果	
・ 結果の概要	4～6
・ 用語解説等	7
・ 地点別データの整理	8～49



## はじめに（このレポートについて）

鳥取県では、平成25年4月1日に「とっとりの豊かで良質な地下水の保全及び持続的な利用に関する条例」が施行され、同年7月12日に、地下採水事業者で構成する「鳥取県持続可能な地下水利用協議会」を設立しました。

本協議会では、県内の地下水位等のモニタリングや結果の公表など、地下水保全の活動を行うこととしています。

このレポートは、市町村の水道事業者や、過去に地盤沈下等のあった鳥取平野で地下水位を監視する国土交通省鳥取河川国道事務所などから地下水位データ等の提供を受けて、県内各地の地下水位を「見える化」したものです。

## モニタリングの目的など

鳥取県内各地の水道水源井戸および地盤沈下監視井戸等（以下、「モニタリング井戸等」という。）について、情報を整理し、水位、揚水量、地盤情報等の数値データを取りまとめ、その情報を県民へ公開します。

公開にあたっては、地下水位及び影響を与える要素の揚水量、降水量も合わせて「見える化」して、水位変化の影響とその他の要因との関係をわかりやすくしています。

また、水位低下が見られる井戸については、鳥取県が設置する鳥取県地下水研究プロジェクトにおいて原因の究明を進めます。

なお、評価コメントは水位の一定傾向について付記したもので、個別に揚水量や降水量、その他の詳細な分析等を行ったものではありませんので、ご承知ください。

## モニタリング井戸の概要

### （1）水道水源井戸 （20 箇所）

鳥取県内の市町村水道部局が管理する井戸で、水道水源として使用されているものがほとんどです。下記の観測用井戸とは異なり、揚水するため、その影響を受けて水位が変動することがあります。

### （2）大山地域観測井戸 （2 箇所）

平成19～21年度に実施した大山南西麓の地下水に関する鳥取大学と鳥取県との共同研究の際に設置した観測用井戸です。大山地域の観測用に設置していることが特徴です。鳥取県が管理しています。

### （3）鳥取平野観測井戸 （12 箇所）

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所（一部鳥取県）が中心に管理している観測井戸です。

鳥取平野では、昭和30年代～40年代の高度成長期に地盤沈下が顕在化し、特に鳥取駅以北の市街地を中心に、建物の抜け上がり、水道、ガス管破裂までの被害が生じて社会問題化しました。

鳥取市の中心部に設置しており、同一箇所に深井戸と浅井戸を設置している地点もあります。

現在、地盤沈下は、沈静化していますが、地下水位の低下に伴い発生することから、引き続き、観測を継続しています。

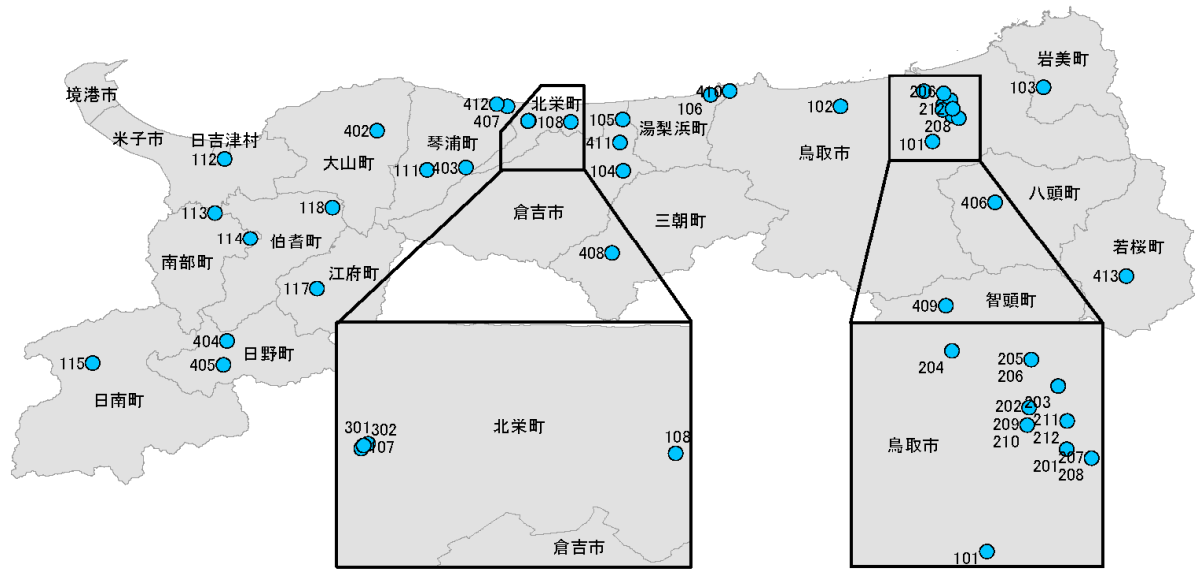
### （4）その他観測井戸 （7 箇所）

1～3以外の地点で水位計を設置して観測しています。

○モニタリング井戸の位置（計 41 地点）

	井戸 No.	井戸名称	井戸種類	所在地	備考
1	101	鳥取市・曳田	水道水原井戸	鳥取市河原町曳田	
2	102	鳥取市・御熊		鳥取市御熊	
3	103	岩美町・池谷		岩美郡岩美町池谷	
4	104	倉吉市・円谷		倉吉市円谷町	
5	105	湯梨浜町・田後		東伯郡湯梨浜町田後	
6	106	湯梨浜町・石脇		東伯郡湯梨浜町石脇	
7	107	北栄町・妻波_3		東伯郡北栄町妻波	
8	108	北栄町・曲		東伯郡北栄町曲	
9	111	琴浦町・大父		東伯郡琴浦町大父	
10	112	米子市・日吉津水源地		西伯郡日吉津村	
11	113	南部町・諸木		西伯郡南部町諸木	
12	114	南部町・池野		西伯郡南部町池野	
13	115	日南町・茶屋		日野郡日南町茶屋	2013. 4 ~ 2019. 12 欠測
14	117	江府町・せせらぎ公園	大山観測井戸	日野郡江府町江尾	
15	118	伯耆町・大山放牧場		西伯郡伯耆町小林	
16	201	鳥取市・大成建設	鳥取平野観測井戸	鳥取市南吉方	2020. 12 ~ 観測中止（井戸廃止）
17	202	鳥取市・行徳		鳥取市行徳	
18	203	鳥取市・西町		鳥取市西町	
19	204	鳥取市・南隈		鳥取市南隈	
20	205	鳥取市・田園町（深）		鳥取市田園町	
21	206	鳥取市・田園町（浅）			
22	207	鳥取市・三洋（深）		鳥取市南吉方	2013. 1 ~ 観測中止（井戸廃止）
23	208	鳥取市・三洋（浅）			
24	209	鳥取市・市民病院（深）		鳥取市的場	2017. 1 ~ 観測中止（井戸廃止）
25	210	鳥取市・市民病院（浅）			
26	211	鳥取市・日進小学校（深）		鳥取市吉方温泉	
27	212	鳥取市・日進小学校（浅）			
28	301	北栄町・妻波_1	水道水原井戸	東伯郡北栄町妻波	No. 107 の近隣井戸
29	302	北栄町・妻波_2			No. 107 の近隣井戸
30	402	大山町・中山		大山町殿河内	
31	403	琴浦町・古長	その他観測井戸	東伯郡琴浦町古長	
32	404	日野町・下黒坂	水道水源井戸	日野郡日野町下黒坂	
33	405	日野町・黒坂		日野郡日野町黒坂	
34	406	八頭町・大御門		八頭郡八頭町殿	
35	407	琴浦町・槻下	その他観測井戸	東伯郡琴浦町槻下	
36	408	三朝町・穴鴨		東伯郡三朝町穴鴨	
37	409	智頭町・智頭		八頭郡智頭町智頭	
38	410	鳥取市・長和瀬	水道水源井戸	鳥取市青谷町長和瀬	
39	411	琴浦町・逢束	その他観測井戸	東伯郡琴浦町逢束	福助株式会社 鳥取工場
40	412	倉吉市・海田東町		倉吉市海田東町	神鋼機器工業株式会社
41	413	若桜町・岩屋堂	その他観測井戸	八頭郡若桜町岩屋堂	

# 観測井戸の所在地



全体的な傾向としては、揚水の影響と考えられる水位変動があるものの、日最大水位及び日最小水位が共に長期的に低下する傾向は見受けられません。

ただし、No405 日野町・黒坂ではやや低下傾向であることから今後もその動向を注視していきます。

また、鳥取市内の観測井戸（深井戸）の地下水位は、冬場に一時的に低下しますが、長期的には上昇傾向が見られます。冬場の地下水位低下の原因の1つとして、融雪装置稼働による一時的な揚水量の増大が考えられます。

これらのモニタリング井戸については、引き続きモニタリングを実施して、長期的な変動や傾向を捉えていきます。また、当該井戸自体の特性や利用情報とともに、周辺の水利用・揚水量等や環境変化等の情報を収集するとともに、地下水揚水量や深度に関する情報も合わせて、データを分析する必要があります。特に顕著な水位の低下傾向が見られる井戸については、収集した情報を活用して、鳥取県地下水研究プロジェクトにおいて今後、評価・検討を行います。

※各観測井戸の水位変動の有無、概要は下表のとおり。詳細は該当ページの記載を参照。

背景の色は水位変動傾向を示している。黄色：上昇傾向、灰色：下降傾向

井戸番号	井戸名称	水位変動	概要	ページ
101	鳥取市・曳田	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	9
102	鳥取市・御熊	無	揚水量は少なく、減少傾向である。日最大水位は概ね横ばいであり、日最小水位は近年やや上昇傾向が見られる。2016年10月を境に日最小水位が1m程度上昇しているが、原因は不明である。また、2017年度などに見られる一時的な水位上昇は、一時的な揚水停止の影響によるものと考えられる。	10
103	岩美町・池谷	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	11
104	倉吉市・円谷	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。地下水位は約2mの幅で日変動しており、揚水の影響を受けていると考えられる。	12
105	湯梨浜町・田後	無	地下水位は概ね横ばいの傾向がみられる。日最小水位は、2016年10月の鳥取県中部地震で一時上昇したが、2019年には元の水位まで戻っている。	13
106	湯梨浜町・石脇	無	日最大水位は概ね横ばいの傾向が見られる。日最小水位は2019年1月頃まで下降傾向であったが、2019年2月を境に上昇し、その後は概ね横ばいの傾向が見られる（井戸の取水を停止した影響）。	14
107	北栄町・妻波_3	無	地下水位は2017年10月頃を境に下降傾向となったが、水位計に錆が生じていたため、2019年9月に水位計を交換。その後、やや下降する傾向が見られるが、近年は横ばいの傾向が見られる。	15
108	北栄町・曲	無	揚水量に応じた地下水位の変動が見られる。地下水位は長期的には概ね横ばいの傾向が見られるが、近年はやや下降傾向が見られる。	16
111	琴浦町・大父	無	2012年6月以降揚水量が増大し、地下水位はやや下降傾向であったが、2021年に揚水量が減少し、概ね横ばいの傾向が見られる。	17

112	米子市・日吉津水源地	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	18
113	南部町・諸木	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	19
114	南部町・池野	無	地下水位は長期的には概ね横ばいの傾向が見られるが、近年はやや下降傾向が見られる。	20
115	日南町・茶屋	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	21
117	江府町・せせらぎ公園	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	22
118	伯耆町・大山放牧場	無	地下水位は長期的には概ね横ばいの傾向が見られるが、近年はやや下降傾向が見られる。	23
201	鳥取市・大成建設	無	水位は冬季に一時的に低下しており、融雪装置稼働による一時的な揚水量の増大が影響していると考えられた。地下水位は概ね横ばいの傾向であった。【2020年12月廃止】	24
202	鳥取市・行徳	無	水位は冬季に一時的に低下しており、融雪装置稼働による一時的な揚水量の増大が影響していると考えられる。地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	25
203	鳥取市・西町	無	水位は冬季に一時的に低下しており、融雪装置稼働による一時的な揚水量の増大が影響していると考えられる。地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	26
204	鳥取市・南隈	無	水位は冬季に一時的に低下しており、融雪装置稼働による一時的な揚水量の増大が影響していると考えられる。地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	27
205	鳥取市・田園町（深）	無	水位は冬季に一時的に低下しており、融雪装置稼働による一時的な揚水量の増大が影響していると考えられる。地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	28
206	鳥取市・田園町（浅）	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	29
207	鳥取市・三洋（深）	無	水位は冬季に一時的に低下しており、融雪装置稼働による一時的な揚水量の増大が影響していると考えられた。地下水位は概ね横ばいの傾向であった。【2013年1月廃止】	30
208	鳥取市・三洋（浅）	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られた。【2013年1月廃止】	31
209	鳥取市・市民病院（深）	無	水位は冬季に一時的に低下しており、融雪装置稼働による一時的な揚水量の増大が影響していると考えられた。地下水位は概ね横ばいの傾向であった。【2017年1月廃止】	32
210	鳥取市・市民病院（浅）	無	地下水位は降水量に応じた変動をしていると見受けられたが、概ね横ばいの傾向が見られた。【2017年1月廃止】	33
211	鳥取市・日進小学校（深）	無	水位は冬季に一時的に低下しており、融雪装置稼働による一時的な揚水量の増大が影響していると考えられる。地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	34
212	鳥取市・日進小学校（浅）	無	地下水位は降水量に応じた変動をしていると見受けられるが、概ね横ばいの傾向が見られる。	35
301	北栄町・妻波_1	無	水位変動は見られるが、地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	36
302	北栄町・妻波_2	無	水位変動は見られるが、地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	37
402	大山町・中山	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。地下水位は大きく変動しているが、周辺井戸の取水の影響が考えられる。降雨に伴った水位変化が見られる。	38

403	琴浦町・古長	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。 降雨に伴った水位変化が明瞭に見られる。	39
404	日野町・下黒坂	無	2010年4月～2011年4月にかけて地下水位が大きく下降している（水位計の不具合などの可能性も考えられる）。 2012年8月～2013年2月の水位減少は水位計の故障が原因である可能性があり、水位計を交換した。2013年7月以降、地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	40
405	日野町・黒坂	有 (やや下降)	地下水位は、2020年以降は揚水量の増加に伴い、やや下降する傾向が見られる。 日最大・日最小水位に40m程度の差が見られ、揚水時の水位降下が大きい。	41
406	八頭町・大御門	無	地下水位は約2mの幅で変動しているが、長期的に概ね横ばいの傾向が見られる。	42
407	琴浦町・槻下	無	水位変動は見られるが、地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	43
408	三朝町・穴鴨	有 (やや上昇)	地下水位はやや上昇する傾向が見られる。	44
409	智頭町・智頭	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。	45
410	鳥取市・長和瀬	無	地下水位は概ね横ばいの傾向だが、2022年以降揚水量が減少し、日最大水位の上昇傾向が見られる。	46
411	琴浦町・逢束	無	地下水位に大きな変動が見られる。（観測期間が短いため、長期的な傾向は不明。）	47
412	倉吉市・海田東町	無	地下水位は約2mの幅で日変動しており、揚水の影響を受けていると考えられる。2023年9月以降、水位が上昇しているが、原因は不明である。（観測期間が短いため、長期的な傾向は不明。）	48
413	若桜町・岩屋堂	無	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。（観測期間が短いため、長期的な傾向は不明。）	49

※ データが取得できないため、一地点削除。

#### <参考>

鳥取平野では、高度経済成長期（1950年代～1970年代）に工業用水や都市用水等での地下水利用の増大により、地盤沈下が顕在化したことを契機に、その対応調査の一環として地下水位観測が1970年代から行われています。

その結果、1980年代から被圧地下水位は上昇（回復）に転じ、季節変動しつつ現在まで長期的に上昇（回復）し（現在は1970年代後半より10m上昇）していることが判っており、地盤沈下は沈静化しています。

このように長期的には鳥取平野の被圧地下水位が上昇していることが判っていますが、今回取りまとめた地下水位データだけを見たとき、「地下水位が上昇傾向」に見えない箇所（井戸）もあります。

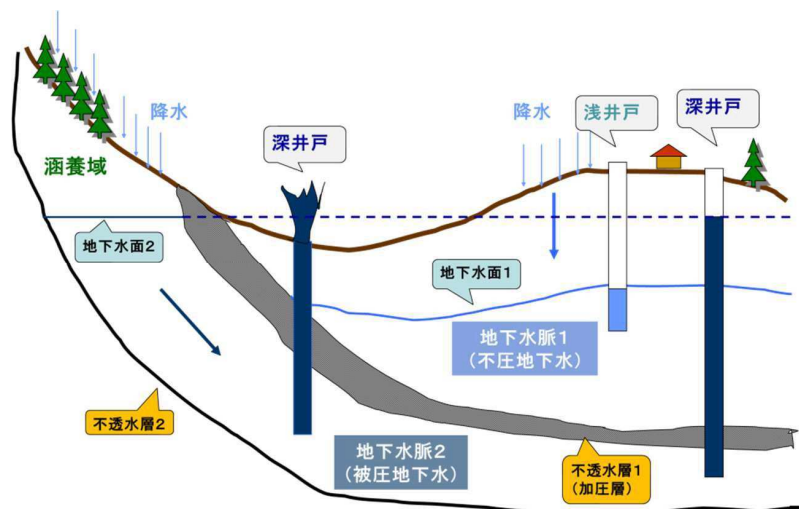


(1) 深井戸と浅井戸について

地下水の種類には大きく分けて2種類、「被圧地下水（深井戸）」と「不圧地下水（浅井戸）」があります。

被圧地下水は、上下が水を通しにくい層（難透水層）でサンドイッチされた状態で帯水している地下水であり、これを取水する井戸は深井戸と呼ばれます。これらの地層中の地下水は離れたところで涵養された水が何年もかけてゆっくりと地下を流れてきたものです。上部は難透水層で覆われ地層に勾配があるため、この帯水層の地下水には水圧がかかっており、井戸を掘削する（難透水層に穴を開ける）と水位は帯水層の深度より上部になります。被圧が大きくなると、地下水位が地表面より高くなり、湧出（自噴）することもあります。

これに対して、不圧地下水は、不透水層が上部にない地下水であり、これを取水する井戸は浅井戸と呼ばれています。不圧地下水は「自由地下水面」と呼ばれる地下水位が存在し、揚水していない状態では地下水位と井戸の水位はほぼ一致します。不圧地下水の地下水位の位置は帯水層の中のある深度に存在することになりますが、帯水層全てが地下水で満たされている（飽和されている）とは限らず、ある期間における地下水位の変動幅が帯水層の幅と同じであるとも限りません。



(2) 水位の表記について


標高基準水位は、海水面（T.P）を基準とした標高で水位を表記しています。対して、センサー基準水位は、井戸内に設置されたセンサー（水位計）から地下水面までの距離を表記しています。

標高基準水位	センサー基準水位
<p>地表面の井戸標高 (A) - 地表から水面までの距離 (B) = 標高換算された地下水面 (C)</p> <p>○地下水面の位置を標高で示す。</p>	<p>センサーの詳細な位置が不明なため、地下水面を標高換算出来ない</p> <p>○地下水面とセンサー（水位計）の距離で地下水位を示す。</p>

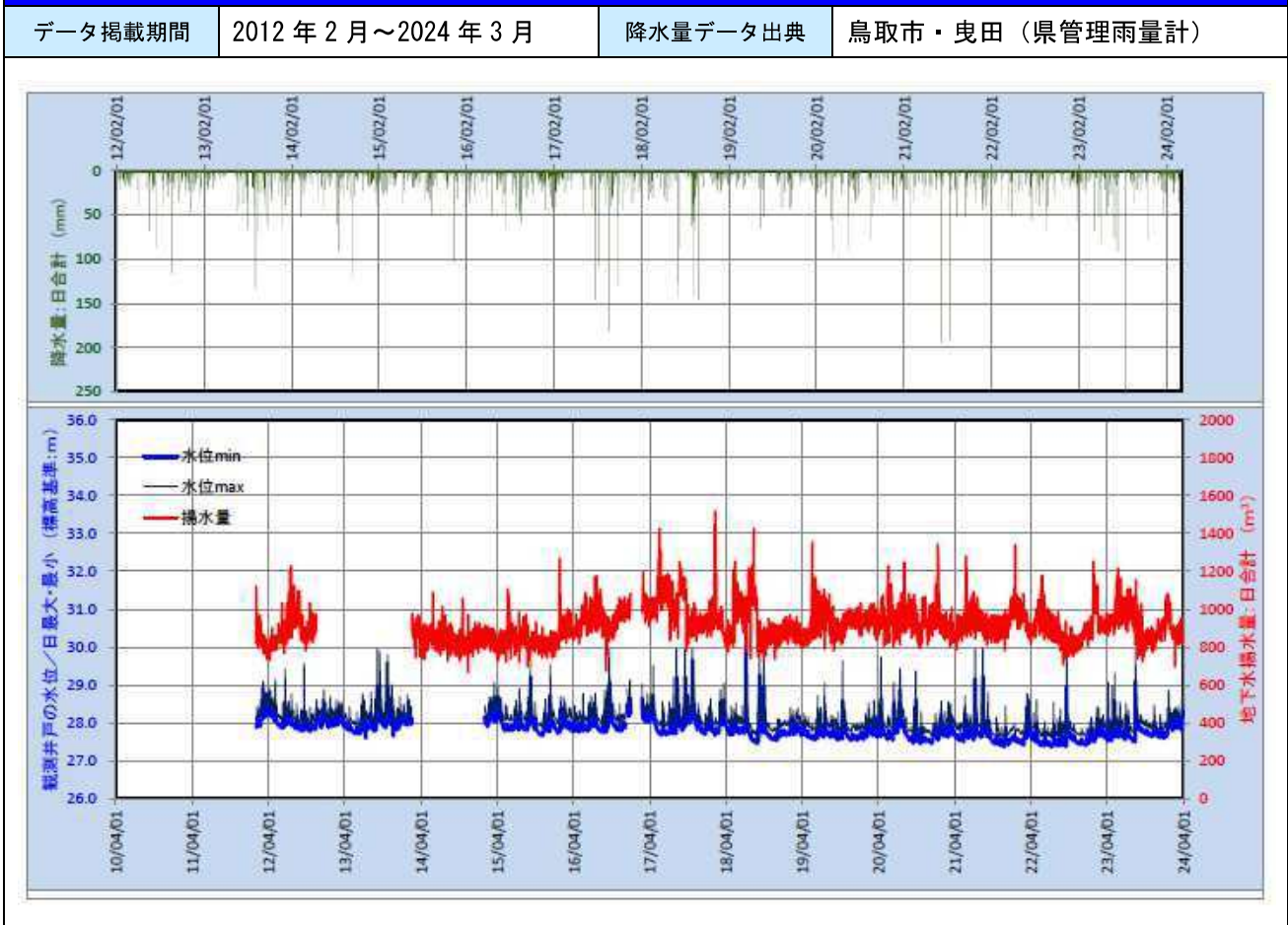
# 地点別データ集

# 東部地区／101／鳥取市曳田

## ■観測井戸の基礎情報

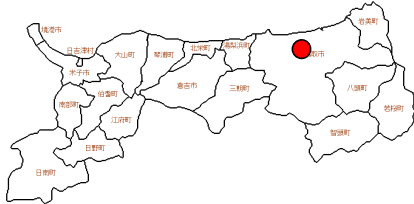
井戸名称	鳥取市・曳田	 <p>印：およその井戸の位置</p>
場所	鳥取市河原町曳田	
井戸の管理者	鳥取市	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：7.2 m / 井戸標高：33.70 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高：28.70 m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。 2012年～2014年にかけての揚水量データの欠測及び2014年～2015年にかけての水位データの欠測は、データ回収ができなかったことによる。	

## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

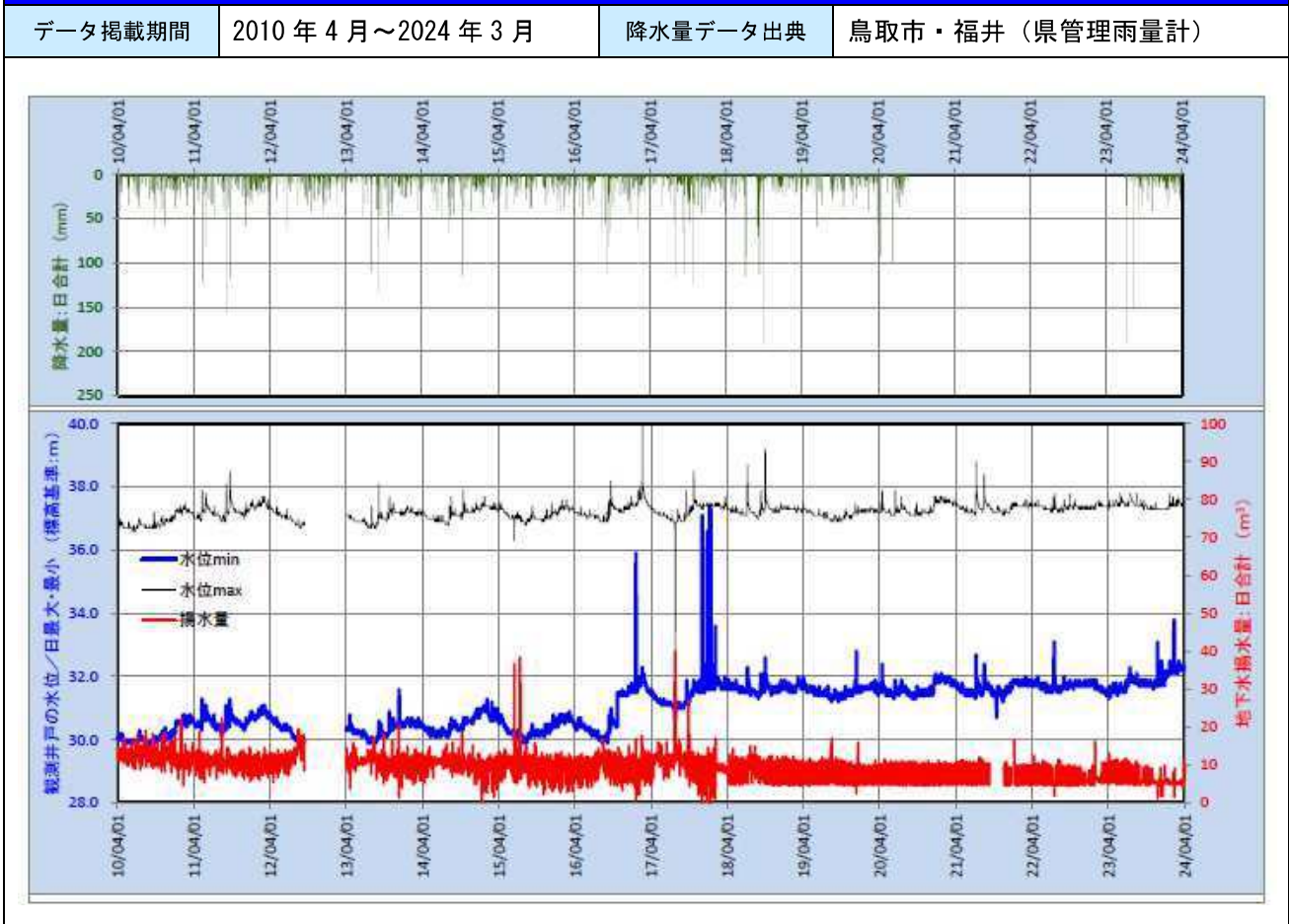


# 東部地区／102／鳥取市御熊

## ■観測井戸の基礎情報

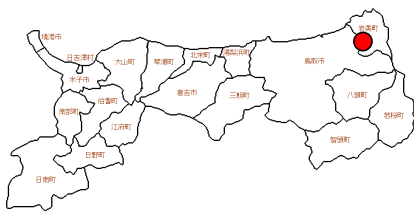
井戸名称	鳥取市・御熊	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	鳥取市御熊	
井戸の管理者	鳥取市	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：100.00 m / 井戸標高：40.69 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高：— m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	<p>揚水量は少なく、減少傾向である。日最大水位は概ね横ばいであり、日最小水位は近年やや上昇傾向が見られる。2016年10月を境に日最小水位が1m程度上昇しているが、原因は不明である。また、2017年度などに見られる一時的な水位上昇は、一時的な揚水停止の影響によるものと考えられる。</p> <p>(2012年度下半期の水位及び揚水量と、2020年度下半期以降の降水量は欠測)</p>	

## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

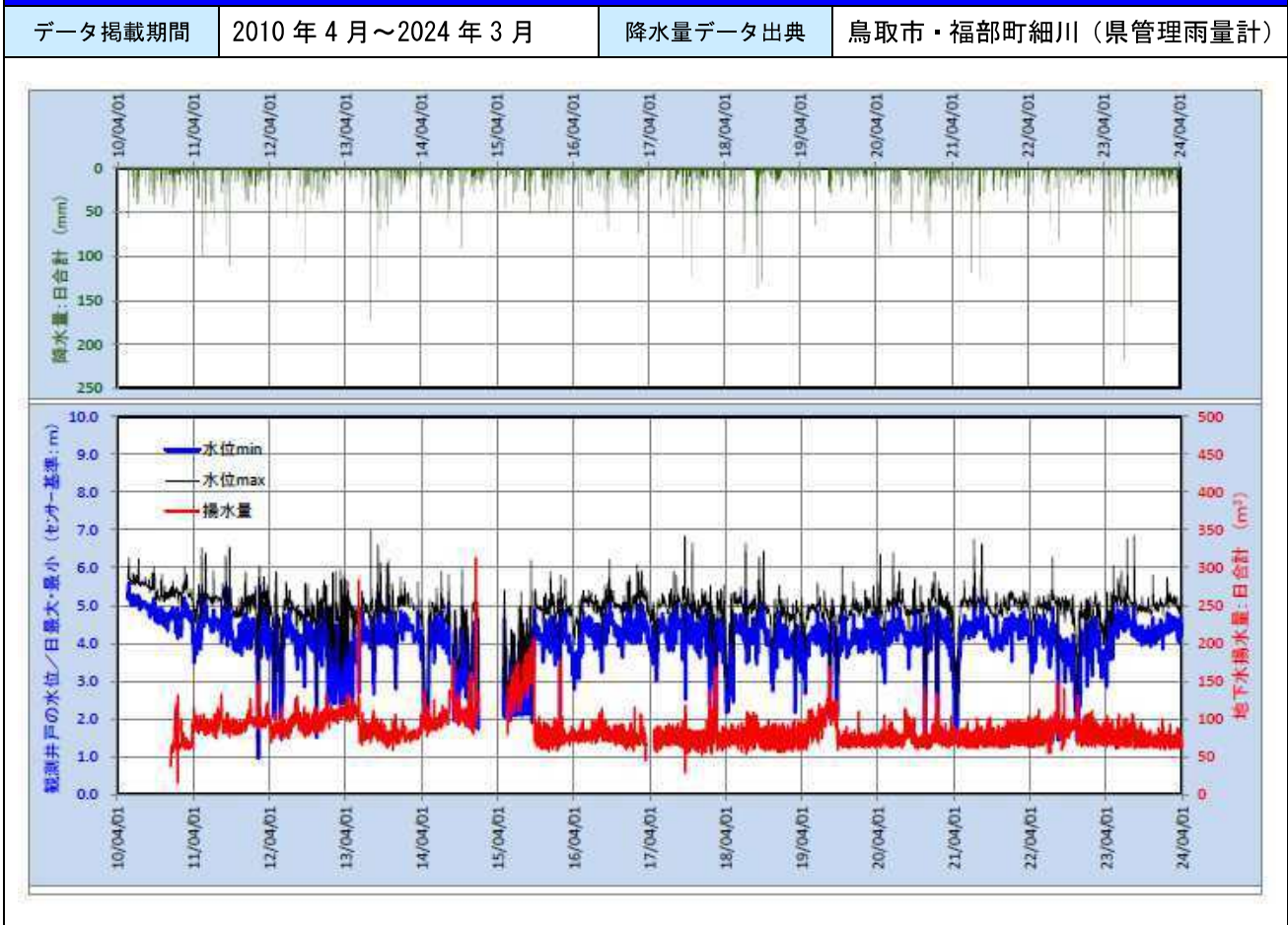


# 東部地区／103／岩美町池谷

## ■観測井戸の基礎情報

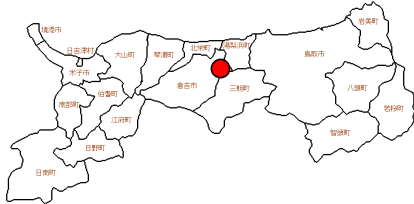
井戸名称	岩美町・池谷	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	岩美郡岩美町池谷	
井戸の管理者	岩美町	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：7.6 m / 井戸標高：31.00 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高：— m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	<p>地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。 2015年1月～4月にかけての欠測はシステム変更によるもの。 ただし、水位計は交換していない。</p>	

## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

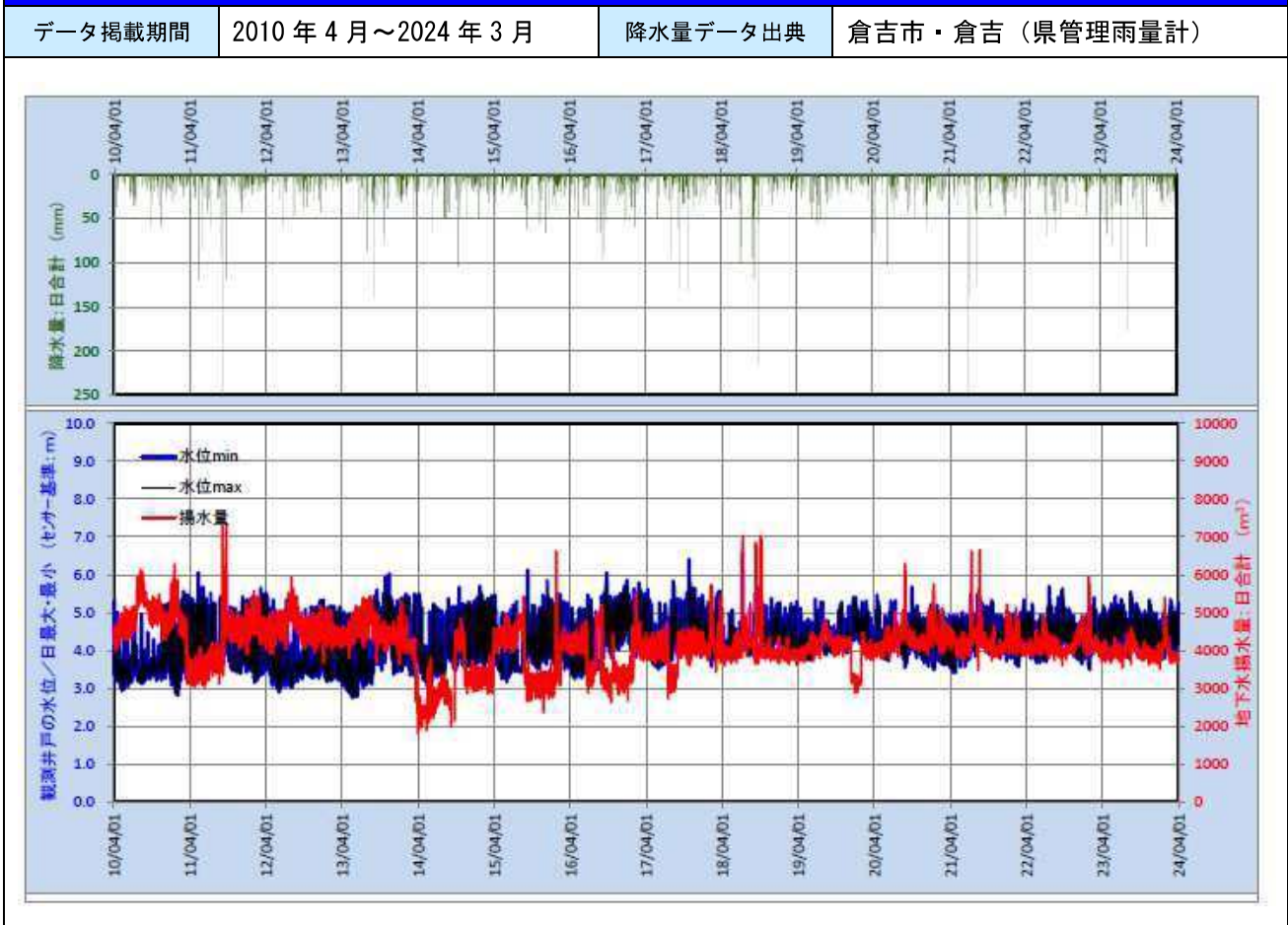


# 中部地区／104／倉吉市円谷

## ■観測井戸の基礎情報


井戸名称	倉吉市・円谷	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	倉吉市円谷町	
井戸の管理者	倉吉市水道局	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：9.7 m / 井戸標高：21.50 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高：11.8 m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。 地下水位は約 2mの幅で日変動しており、揚水の影響を受けていると考えられる。	

## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)



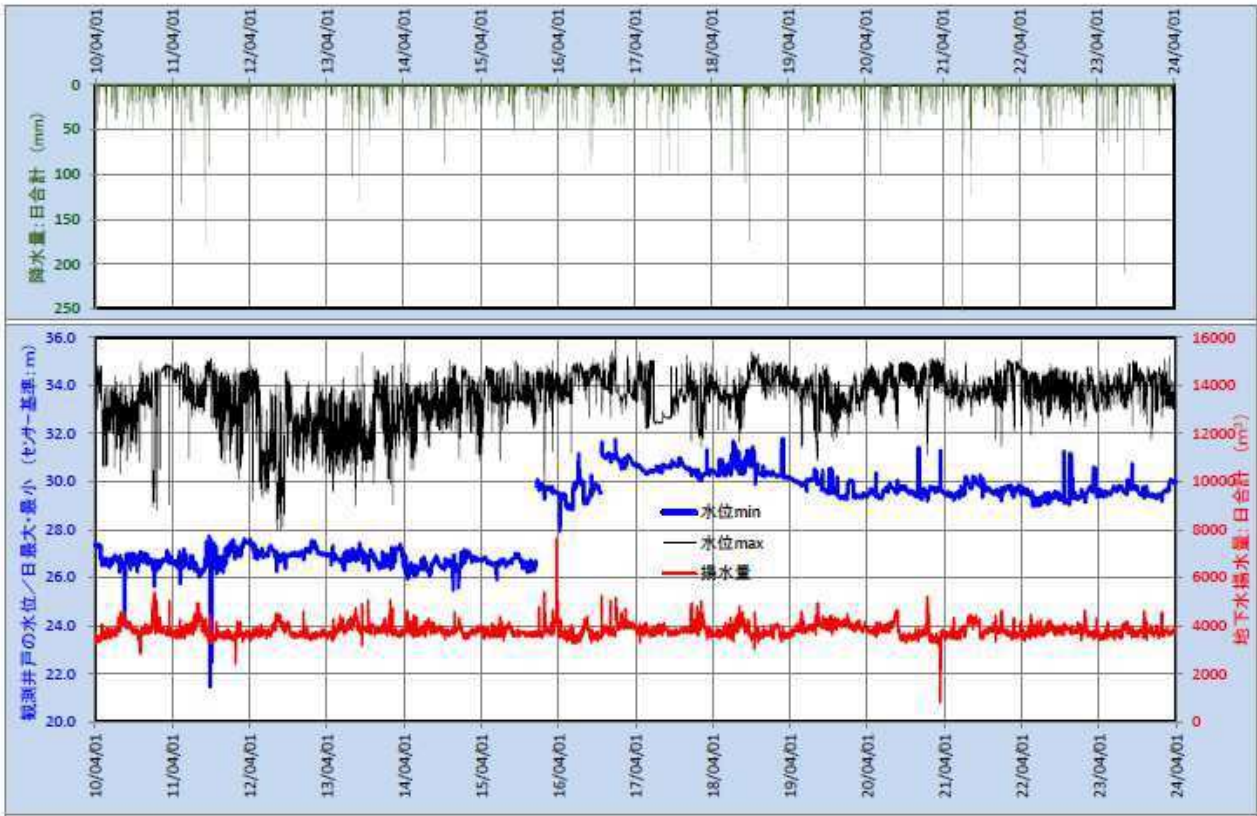
# 中部地区／105／湯梨浜町田後

## ■観測井戸の基礎情報

井戸名称	湯梨浜町・田後	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	東伯郡湯梨浜町田後	
井戸の管理者	湯梨浜町	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：－ m / 井戸標高： 3.00 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高：－ m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	<p>地下水位は概ね横ばいの傾向がみられる。          日最小水位は、2016年10月の鳥取県中部地震で一時上昇したが、2019年には元の水位まで戻っている。          ※揚水量は近隣10井戸の合計揚水量を表す。</p>	

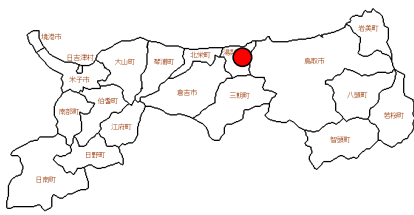
## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

データ掲載期間 2010年4月～2024年3月 降水量データ出典 湯梨浜町・松崎 (県管理雨量計)

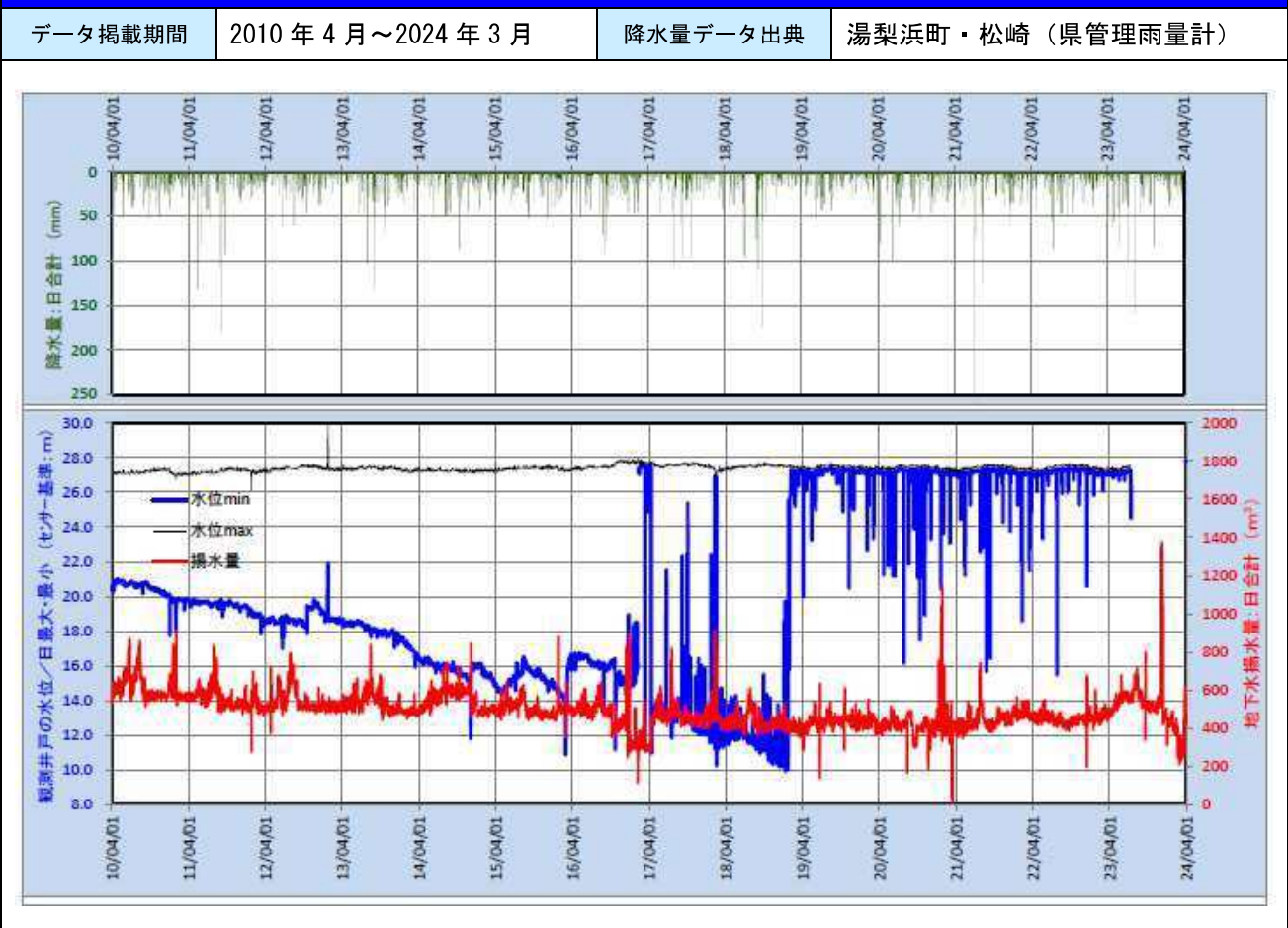


# 中部地区／106／湯梨浜町石脇

## ■観測井戸の基礎情報

井戸名称	湯梨浜町・石脇	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	東伯郡湯梨浜町石脇	
井戸の管理者	湯梨浜町	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：60.0 m / 井戸標高：3.30 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高：-26.7 m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	<p>日最大水位は概ね横ばいの傾向が見られる。                  日最小水位は2019年1月頃まで下降傾向であったが、2019年2月を境に上昇し、                  その後は概ね横ばいの傾向が見られる (井戸の取水を停止した影響)。                  (2023年7月以降の水位は、機器の故障により欠測)                  ※揚水量は近隣3井戸の合計揚水量を表す。</p>	

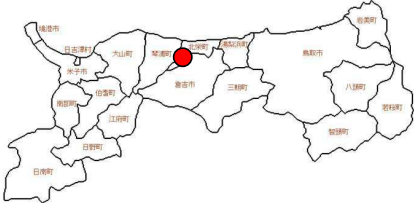
## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)





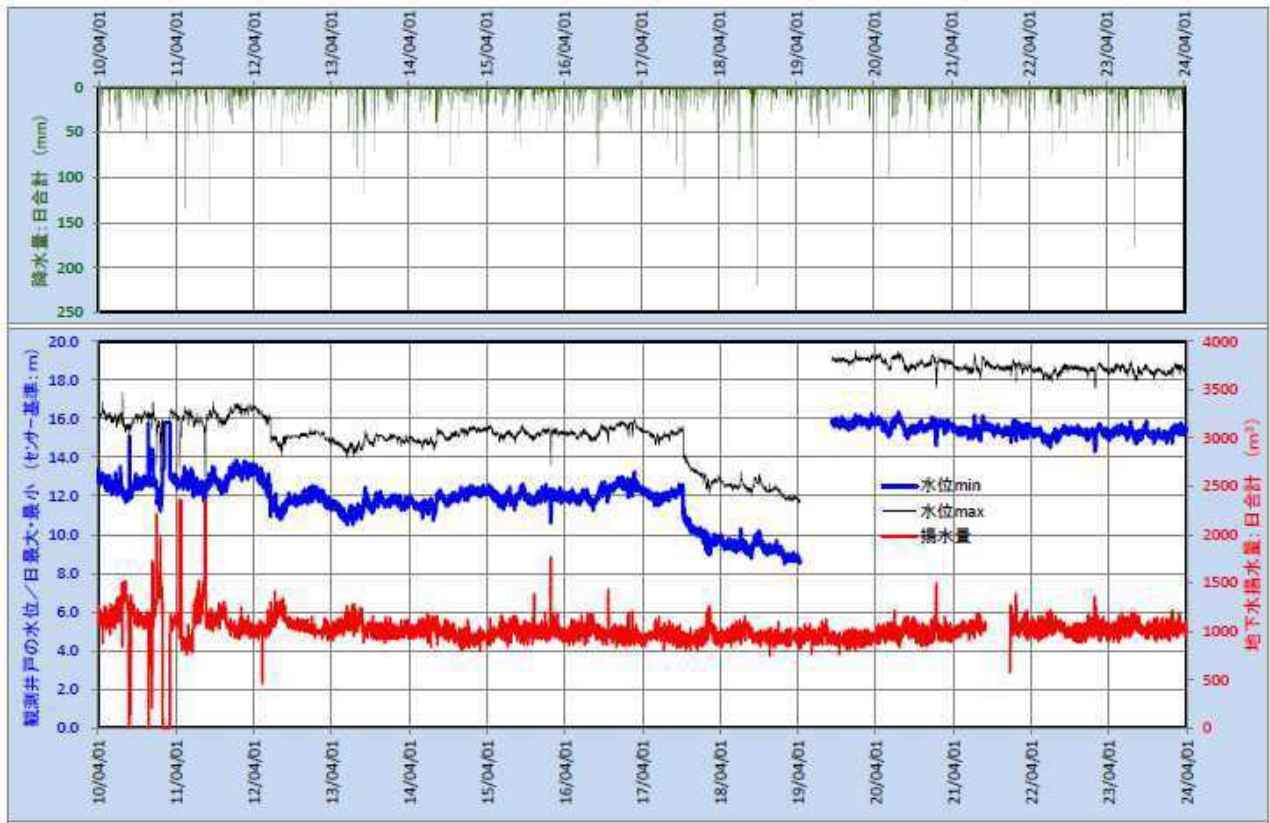
# 中部地区／107／北栄町妻波\_3

## ■観測井戸の基礎情報

井戸名称	北栄町・妻波_3	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	東伯郡北栄町妻波	
井戸の管理者	北栄町	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度： 61.0 m / 井戸標高： 38.00 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレーナ位置	標高： - m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	地下水位は 2017 年 10 月頃を境に下降傾向となったが、水位計に錆が生じていたため、2019 年 9 月に水位計を交換。その後、やや下降する傾向が見られるが、近年は横ばいの傾向が見られる。	


## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

データ掲載期間 2010 年 4 月～2024 年 3 月      降水量データ出典 北栄町・瀬戸 (県管理雨量計)



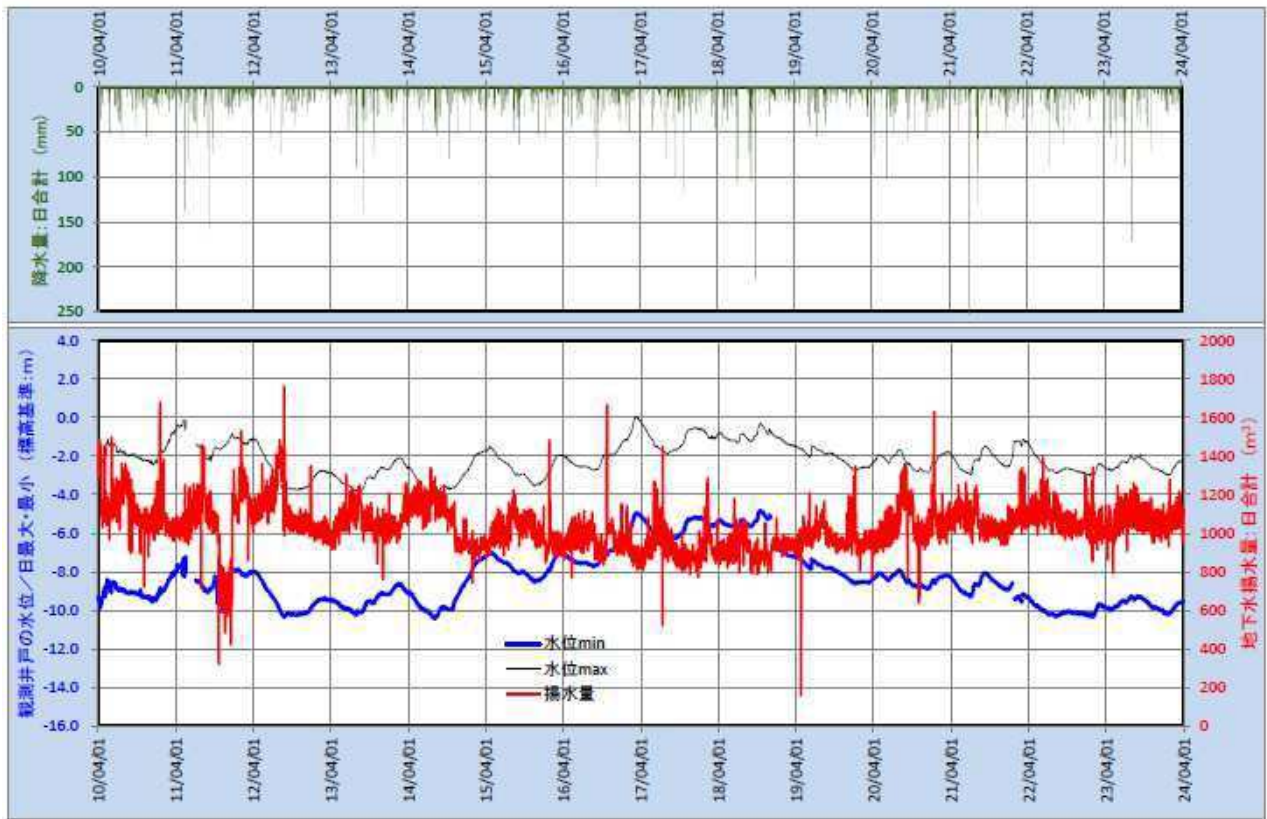
# 中部地区／108／北栄町曲

## ■観測井戸の基礎情報

井戸名称	北栄町・曲	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	東伯郡北栄町曲 574-2	
井戸の管理者	北栄町	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：26.0 m / 井戸標高：4.40 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレーナ位置	標高：— m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	揚水量に応じた地下水位の変動が見られる。 地下水位は長期的には概ね横ばいの傾向が見られるが、近年はやや下降傾向が見られる。	

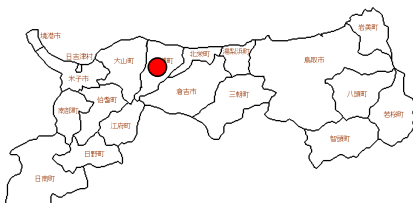
## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

データ掲載期間 2010年4月～2024年3月 降水量データ出典 北栄町・北尾 (県管理雨量計)



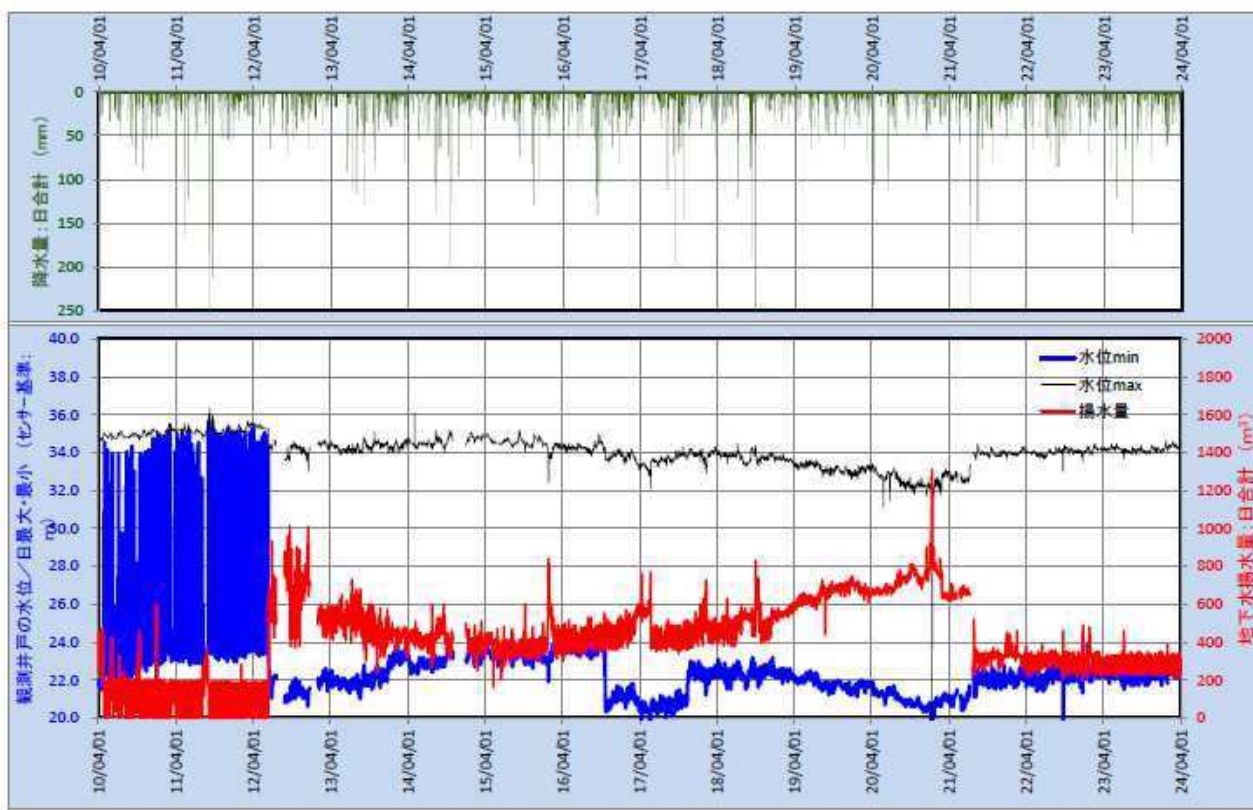
## 中部地区／111／琴浦町大父

### ■観測井戸の基礎情報

井戸名称	琴浦町・大父	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	東伯郡琴浦町大父	
井戸の管理者	琴浦町	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：140.7 m / 井戸標高：271.20 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高：194.0 m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	2012年6月以降揚水量が増大し、地下水位はやや下降傾向であったが、2021年に揚水量が減少し、概ね横ばいの傾向が見られる。 なお、2016年10月の鳥取県中部地震後には、一時的な日最小水位の低下が見られた。	

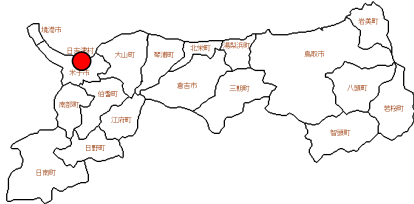
### ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

データ掲載期間 2010年4月～2024年3月 降水量データ出典 大山町・羽田井 (県管理雨量計)

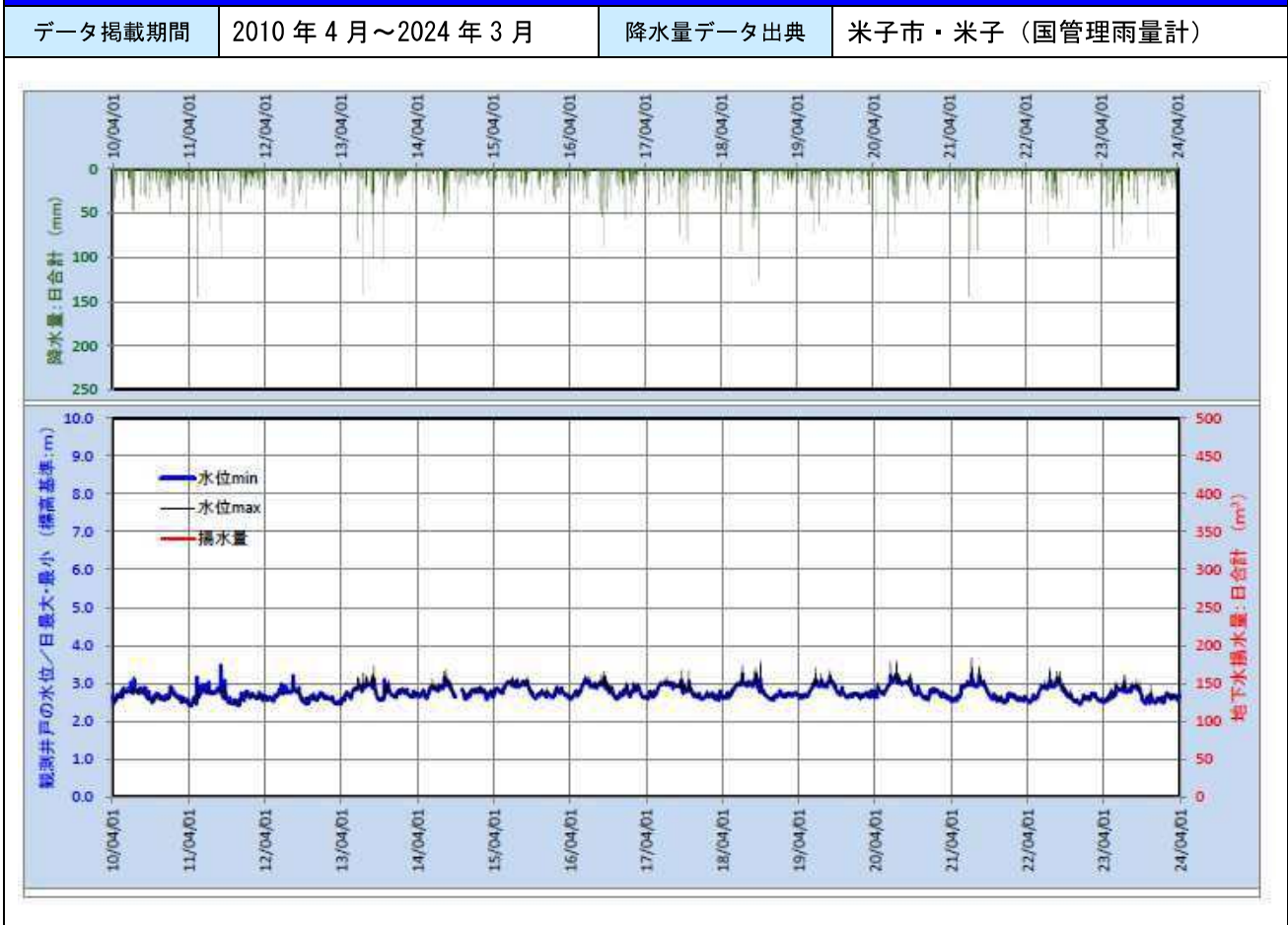


# 西部地区／112／日吉津村

## ■観測井戸の基礎情報

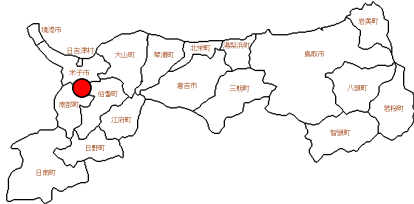
井戸名称	米子市・日吉津水源地	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	西伯郡日吉津村	
井戸の管理者	米子市	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：23.0 m / 井戸標高：4.3 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高：— m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。 ※揚水量のデータなし。	

## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

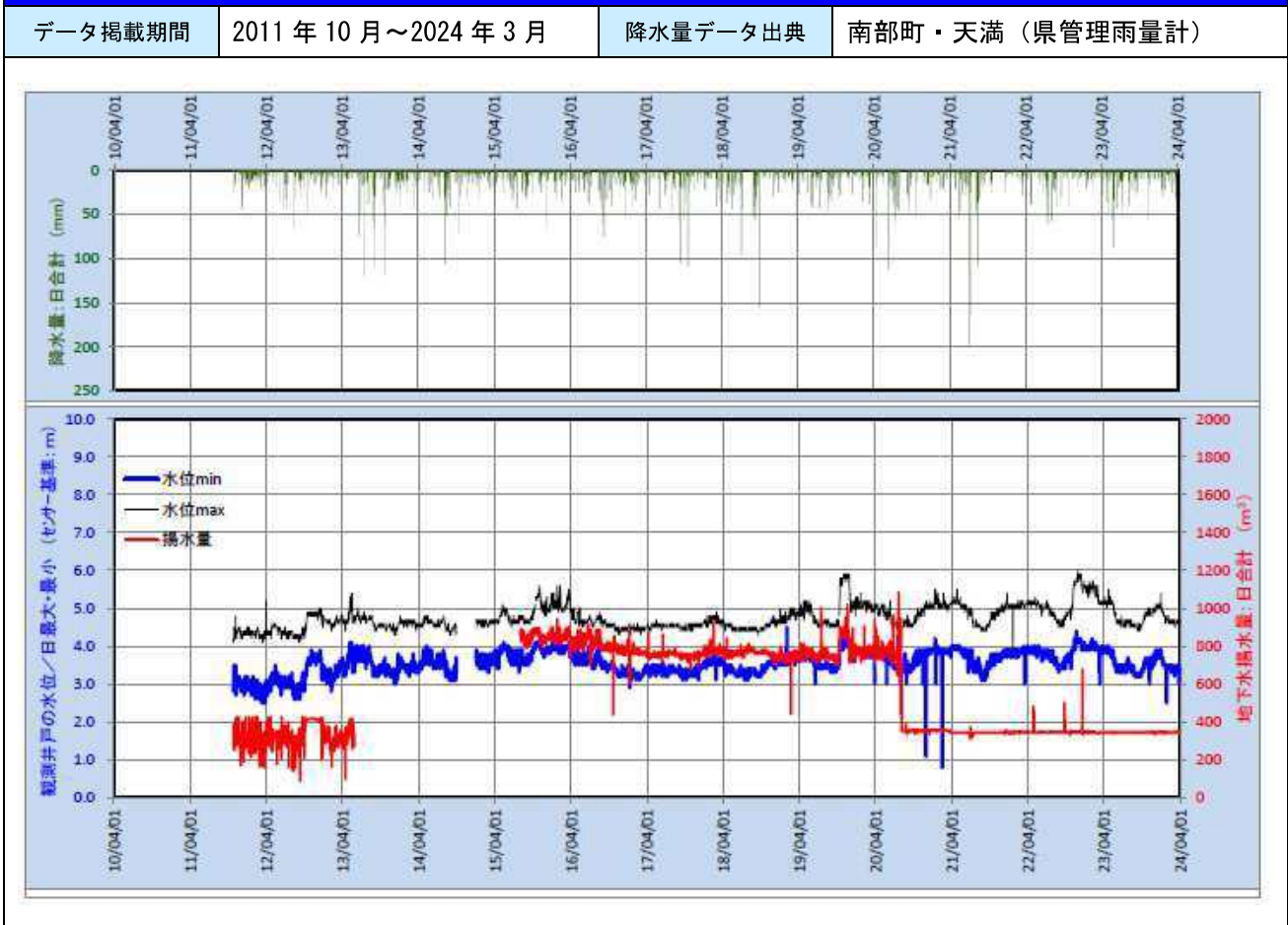


# 西部地区／113／南部町諸木

## ■観測井戸の基礎情報


井戸名称	南部町・諸木	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	西伯郡南部町諸木	
井戸の管理者	南部町	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：40.0 m / 井戸標高：31.00 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高：1.0 m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。 なお、2019年の11～12月にかけて、揚水量の増大に伴う地下水位の一時的な上昇が見られた。	

## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)



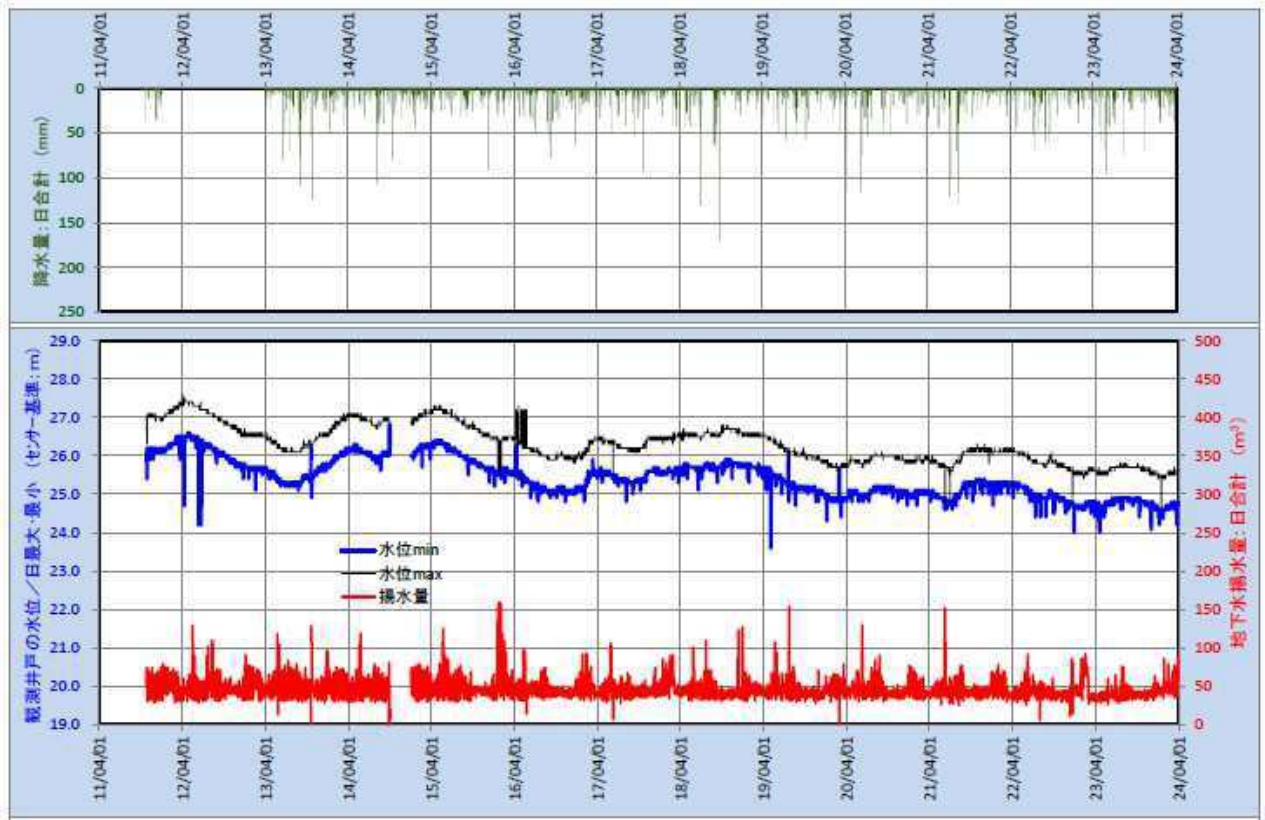
# 西部地区／114／南部町池野

## ■観測井戸の基礎情報

井戸名称	南部町・池野	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	西伯郡南部町池野	
井戸の管理者	南部町	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：102.6 m / 井戸標高：208.00 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレーナ位置	標高：123.0 m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降) やや下降	
コメント (水位変動の原因など)	地下水位は長期的には概ね横ばいの傾向が見られるが、近年はやや下降傾向が見られる。	

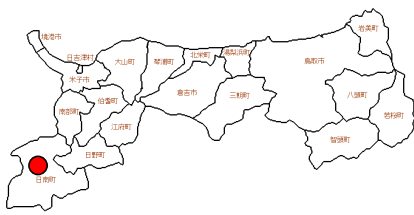
## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

データ掲載期間 2011年10月～2024年3月 降水量データ出典 朝鍋ダム (県管理ダム)

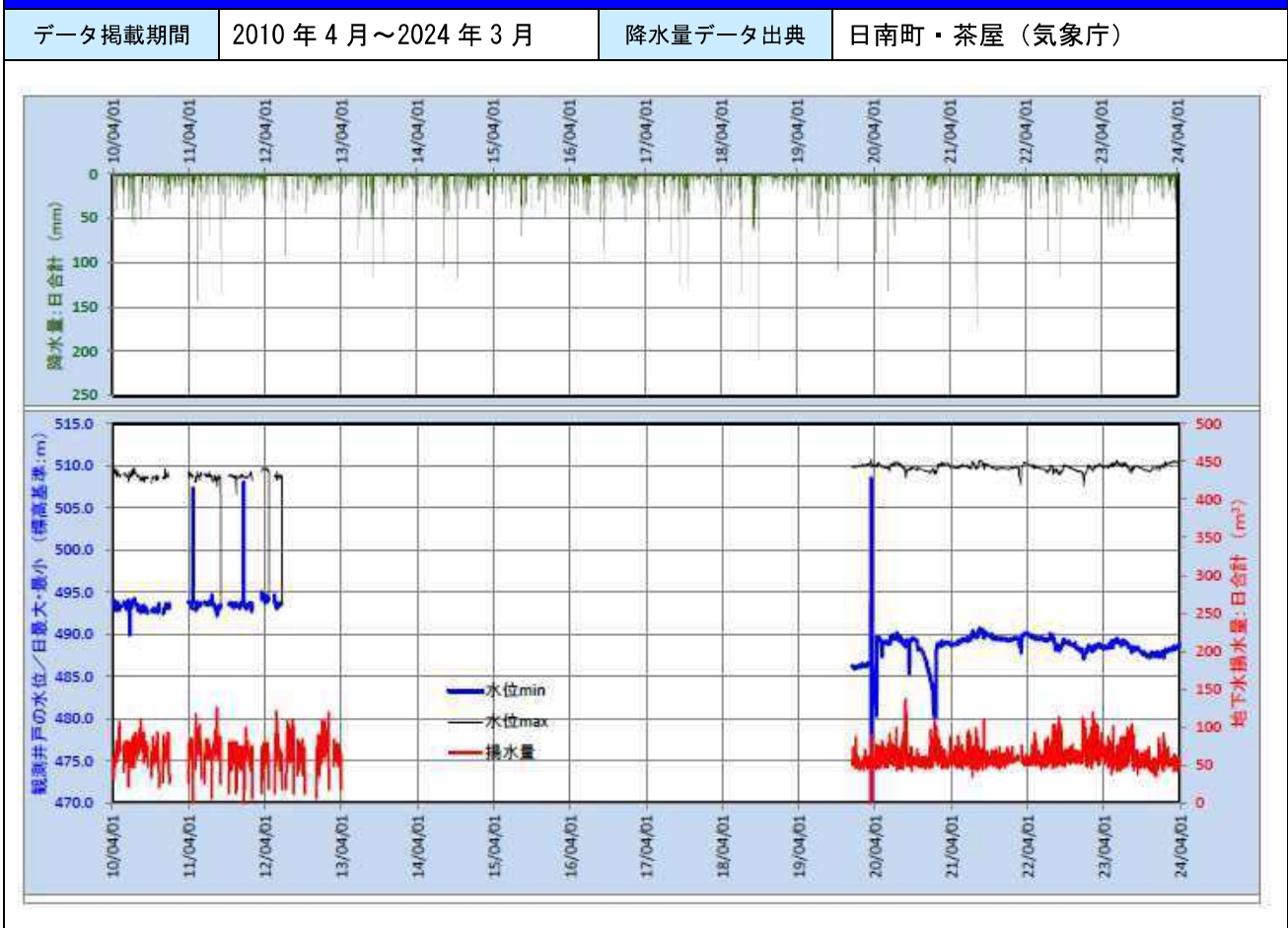


# 西部地区／115／日南町茶屋

## ■観測井戸の基礎情報


井戸名称	日南町・茶屋	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	日野郡日南町茶屋	
井戸の管理者	日南町	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度：120.0 m / 井戸標高：505.00 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高：471, 454, 445, 418, 410 m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。 (2013年4月～2019年12月欠測)	

## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

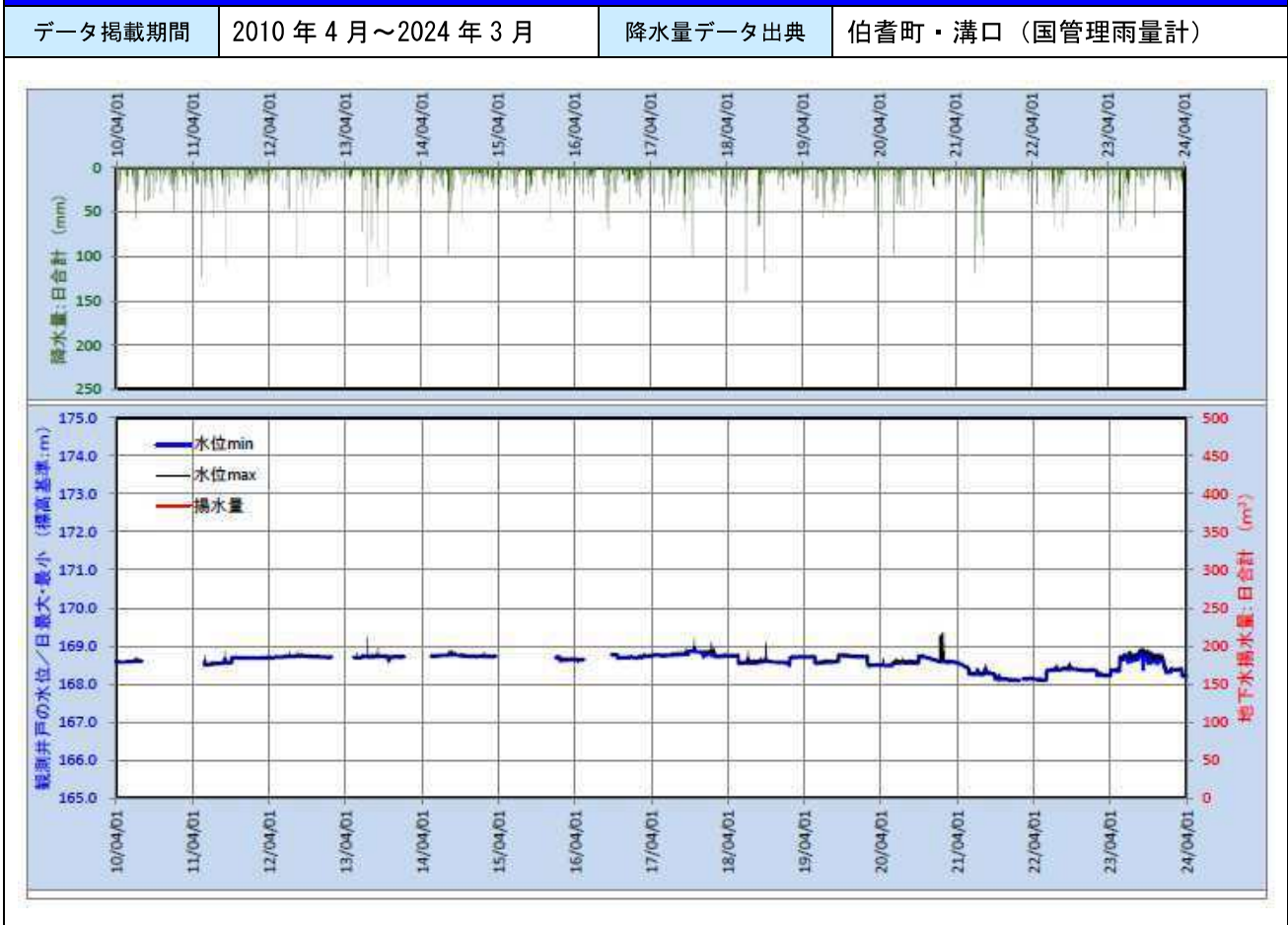


# 西部地区／117／江府町せせらぎ公園

## ■観測井戸の基礎情報

井戸名称	江府町・せせらぎ公園	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	日野郡江府町江尾	
井戸の管理者	鳥取県 水環境保全課	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度： 33.0 m / 井戸標高： 174.30 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高： 160.6～155.0 m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	地下水位は概ね横ばいの傾向が見られる。 ※水位観測用のため、揚水量のデータなし。	


## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)





# 西部地区／118／伯耆町大山放牧場

## ■観測井戸の基礎情報

井戸名称	伯耆町・大山放牧場	 <p>○印：およその井戸の位置</p>
場所	西伯郡伯耆町小林	
井戸の管理者	鳥取県 水環境保全課	
井戸の用途	水道水源用・水位観測用・ほか	
浅井戸・深井戸の別	浅・深・不明	
井戸の深度／ 井戸所在地の標高 (T.P)	深度： 90.0 m / 井戸標高： 608.80 m	
水位の表示方法	標高基準水位・センサー基準水位	
ストレナ位置	標高： 582.8～574.8, 566.8～558.8, 542.8～539.8, 530.8～526.8 m	
周辺での地下水利用	少・やや少・やや多・多・不明	
揚水設備の有無	無・有	
顕著な水位変動の有無	無・有 (上昇・下降)	
コメント (水位変動の原因など)	<p>地下水位は長期的には概ね横ばいの傾向が見られるが、近年はやや下降傾向が見られる。</p> <p>2016年に機器の不調によりデータ欠測となったため、2017年4月に水位計を交換。 ※水位観測用のため、揚水量のデータなし。</p>	

## ■観測井戸の水位・揚水量グラフ (下段) と近隣降水量グラフ (上段)

データ掲載期間 2010年4月～2024年3月 降水量データ出典 大山町・大山 (県管理雨量計)

